

事業名	やまなしイメージアップ事業費			調査番号	3
細事業名	やまなしイメージアップ事業費	財務コード	224001		
担当部課室	総合政策 部	広聴広報 課	報道 担当 (内線)	1457	

事業の概要

実施期間	始期 H3 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	県(直営)		
目的	だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして	結果、何に結びつけるのか
	スポーツ、芸術、文化、産業などあらゆる分野で、県民に感動や爽快感、または夢を与えるような活躍をした人	山梨県のイメージアップに貢献してくれたと認められる活躍について表彰し、その実績を広く県内外に認知させる	県民のふるさと意識の高揚 県外に対する本県のイメージアップ
内容	<p>事業概要 スポーツ、芸術、文化、産業などあらゆる分野で、県民に感動や爽快感、または夢を与えるような活躍をし、その活躍が全国で紹介され、山梨県のイメージアップに貢献したと認められる個人または団体を表彰する。</p> <p>近年の実績 H25年度 山梨学院大学附属高等学校男子駅伝部 H24年度 成島 出(映画監督)、渡邊玉枝(女性登山家)、辻村深月(作家)、米満達弘(レスリング選手)、鈴木聡美(水泳選手)、大村智(北里大学名誉教授)、富田克彦(映画監督)</p>		

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
活動指標	山梨県のイメージアップに貢献した個人又は団体を選考している。表彰対象者が生じた場合に表彰する制度であるため、目標の設定、達成率の算出はできない。	目標						
	実績(見込)	0	7	1	0	0	2	
	達成率							
	達成区分							
成果指標		目標						
	実績(見込)							
	達成率							
	達成区分							
決算(予算) 単位:千円		0	776	364	0	0	736	736

事業の評価(平成27年度の業績評価)

活動指標	なし	評価	表彰対象がなかったため
成果指標	b		この表彰により県民を明るい気持ちにさせ、県民のふるさと意識の高揚や県外に対する本県のイメージアップに貢献している。

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
 ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

見直しの必要性(平成29年度に向けた改善等の考え方)

県関与の必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い	<input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input checked="" type="checkbox"/> その他()		
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能	<input type="checkbox"/> 成果向上が可能	<input checked="" type="checkbox"/> 成果向上は余り望めない
	説明	表彰対象者が生じた場合に表彰する制度であることから、成果向上を目指して主体的に取り組むことは困難である。		
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある	<input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> その他(今後県民に明るい気持ちをもたらせるよう、本事業の継続が必要である)		
その他	説明			
見直しの必要性	無	特定分野に限らず、広く県のイメージアップに貢献された方を表彰するのは本制度のみである。各界で活躍された方を表彰する制度として、広く県民にも認知されており、過去に表彰した方の顕彰の意味も含め、今後も本事業を継続していく必要がある。		

見直しの方向(平成29年度当初予算等での対応状況)

現行どおり	説明
-------	----

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。